

地域支える人材に 松山で県内14社合同入社式



県中小企業家同友会の合同入社式で決意表明する  
新入社員—29日午前、松山市宮田町

県中小企業家同友会（会員約500人）会員企業の合同入社式が29日、松山市宮田町の県勤労会館であった。小売りや福祉など県内14社の新入社員38人が一足早く、社会人としての第一歩を踏み出した。

新入社員が少ない中小企業では入社式を実施しないケースもあることから、人生の節目を感じてもらおうと2012年度から共同で開催。参加者が社外の同期として交流を深めることで早期離職の防止も目指す。式では、平野啓三代表理事が「働くことで成長し、地域を支える中小企業の人材として頑張ってほしい」と激励した。

新入社員を代表し、岡田印刷（松山市）の佐伯麻衣さん（23）が「学ぶことに食欲になり、さまざまなことを吸収し仕事に生かした

い」と決意表明。同友会に入局する難波賢太さん（22）は「企業の垣根を越え、社会を動かしていく同志と一堂に会することができうれしい。信頼される事務局員になりたい」と話した。

9月には、新入社員が入社後の悩みなどを相談し合うフォローアップ研修を行う予定。

（原田茜）